

第6回 JCHO千葉病院地域協議会 議事録

出席者（敬称略）：関係者 富田、長谷川、和田、光永、小川、積田
病 院 室谷、堀、中村、市原、江連
（事務局）田野井、菱沼、高山、勝亦、小柳、原
欠席者 関係者 矢島、高岡、能勢
病 院 堀、河野

1. 院長挨拶 室谷院長

第6回になりました。年2回のペースで開催し、地域医療構想のなかで、地域とつながって、きちんと役割が果たしているかどうか。各方面からの意見を聞きながら進めていっているが、会を通じて、皆さんの意見を吸収して明日からの医療に反映していきたいと思っている。

2. 病院の運営状況等 江連事務長

3. 訪問看護開始について

（当院）訪問看護室を準備していたが、進んでいない。訪問看護について考え直している。

（当院）訪問看護室を立ち上げて、院内のみなし訪問からスタートするつもりだったが、スムーズにいかず、院内の退院前訪問と退院後訪問から開始し、訪問看護（介護）2件おこなったが、入院してしまった。4月から訪問看護室開設のお知らせを配布して院内の訪問看護を始めていく。

4. 地域医療構想について

（当院）地域医療構想について、大学病院で会議はあるが、地域の温度差や病院の温度差があり、うまく動いていないのが現状。

5. 当院への要望・ご意見等について意見交換 議長、室谷院長

（当院）地域医療構想について、大学病院で会議はあるが、地域の温度差や病院の温度差があり、うまく動いていないのが現状。

（委員）あんしんケアセンター蘇我がなくなり、蘇我駅周辺を松ヶ丘が担当、新たに白幡出張所を増設しました。大きな変更があり、混乱が生じると思うが、バックアップしていく。
平成29年度の新規・拡充事業について、資料を参照しながら説明。

現行相当サービスを引き続き提供するとともにサービスの提供側の有志各社要件を緩和した基準によるサービスに移行する。利用していた、デイサービスやホームヘルプサービスが使えなくなる訳ではない。地域支え合い型訪問支援、地域支え合い型通所支援は、住民主体サービスでデイサービスに変わるようなサロンやホームヘルプサービスで身体介護を伴わない方の家事援助の部分が9割を占めているので、この部分を地域の皆様の支え合いで助けて頂けないか。4月に移行はするが、地域の方と意見交換していきながら育んでいきたいと考える。新しい事業が育たないうちは現行相当サービス及び緩和したサービスで安心して介護予防の給付に変わるものを受けてもらい、移行していく。

新しく、短期リハビリ型通所サービスを開設した。退院後の援助、入院前の生活に近づけるように、ケアをしていくサービス。病院の連携室やケアセンターの協力の元、理学療法士が訪問し、生活環境を確認しながら必要なケアプランをたてサービスを提供していく準備をしています。7月から開始する予定。新たに、歯科医師、薬剤師、看護職員向け認知症対応力向上研修を設けたので、認定看護師の協力が必要。協力をお願いしたい。

(当院) 松ヶ丘と白幡出張所どちらを利用したら良いか？管轄などはあるのか。

(委員) 特にありません。

(当院) あんしんケアセンターは30箇所以上になるか。

(委員) 来年度から出張所を増やしていかなければならないのかと考えています。

(当院) 短期リハビリ型通所サービスは、医療保険を利用？介護保険を利用？自費ですか？

(委員) 介護保険適用です。数百円で受けられるようにしていきたい。

(当院) 利用者数を教えてください。

(委員) 250名。相談数は100件ほど。

(委員) 1人の専門職が抱える高齢者人口は2,126人。この数字は国の基準同等だが、その専門職を109人から137人に増やす予定。そうすると、1,740人になるが、まだまだ足りない。中央区は間に合っていないが保健福祉センターの中にあんしんケアセンターと同じ職種を配置して全面的にあんしんケアセンターをバックアップしていく方向。花見川区、稲毛区、緑区から準備をしている。

(委員) 町の声を見ると、健康面で気軽に相談できる場所が欲しい。医療職としての看護師が求められているように思う。

(当院) 患者さんの中で、あんしんケアセンターの存在、相談できる場所があるのは知っているか？

(委員) あまり、知られていない。

(当院) 困ったとき、どこに相談すれば良いか？医療以外の相談も透析室の看護師が受けていて、それは無理でしょうと答えることもあるので、上手にまわれば。

(委員) 患者に伝えていきたい。

(委員) 在宅は増えていると思いきや減っているように思う。以前は長いお付き合いで在宅医療して信頼関係を保ってきたが、今はすぐに施設に入所したり、短い周期での付き合いになっている。10年前よりは、施設での看取りが普通になってきている。入院を望まない家族が増えている。

(委員) 24時間体制で待機している。

(委員) 在宅で一番大事なものは、訪問看護です。

(当院) 人間関係の構築を普段からしていくのが大事ですね。患者さんからの要望はありますか？

(委員) 書面でアンケートを実施している。回収している途中です。

(当院) 市の立場、あんしんケアセンターの立場、訪問看護ステーションのそれぞれの意見を聞かせていただくことで、地域とどうつながって、対応していくか、考える糧になりました。急には変わりませんが、何らかの形で1歩ずつ、進歩していけばと思います。これからも、この会は続けていきます。

※委員より要望

看護師の研修会について

院外の看護師対象の研修会の年間スケジュールを年度初めに提示してほしい。

そうすることによって参加の予定を組みやすく、当院の研修会を活用しやすくなる。

(回答)

認定看護師会や保健師の院外研修の年間スケジュールを立案し、ホームページに載せることや、各訪問看護ステーション等にお知らせをメールや郵送するよう検討していく。